

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

		整理番号		511	
事業名	沿道緑化等管理委託	予算科目	会計	一般会計・1	
担当部課名	市民生活部 生活環境課		款	衛生費・4款	
電話	0799 - 43 - 5024		項	保健衛生費・1項	
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	環境美化対策費・6目	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	子どもを産みたい_育てたいまち【子育て】			
	施策目標	ゴミのない清潔感あふれる安らぎの住環境をつくる			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 市内全域(対象人数:平成22年3月末現在)		対象人数(人) 52,012	
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 本来の目的は、過去の行政評価のとおり、西淡地区の「直営花壇」と称する道路整備等で設置した花壇及びプランターを管理することにより環境美化を推進することにある。業務内容において「沿道緑化事業」とし委託業務を拡張してきた。			
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 平成22年4月に業務内容を精査し、「旧西淡町直営花壇」を含め6箇所に縮小して、業務委託契約をしている。 現在、委託業務に関して精査し、業務内容と委託箇所及び業務委託計画書を作成し改善を図っている。			
	背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向) 道路整備により沿道に空き地ができたため、ゴミの不法投棄や違法駐車を防止するため、花壇やプランターを設置し環境美化を推進してきた。 それらに対応するため、シルバー人材センターへ業務委託し事業を実施している。			
	事業期間	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 () <input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし			
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 嘱託職員の雇用継続と、その人員を補充するためにシルバー人材センターへ業務委託することによって環境美化事業を継続してきた。				

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	本来希望する業務の割合					指標単位
							日
	指標説明 (指標算出 方法等)	日報により、業務委託にかかる総出役日数における花壇の管理等 以外の業務を除いた日数					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標値		290	243	180	100	
	実績値		208	137	100	100	
	達成度 (%)	-	71.7	56.4	55.6	100.0	
目標値設定 の考え方	シルバー人材センターとの業務委託契約内容を検査し、年間契約 と本来必要である業務の割合を目標値とする。						
資源配分 (インプット)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	直接事業費 (千円)	2,273	2,793	1,760	2,465	1,370	
	業務委託料	2,273	2,793	1,760	2,465	1,370	
	財 源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	2,273	2,793	1,760	2,465	1,370	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	30.1	27.9	28.2	27.4	27.4	
	事業量1(事業に要した日数)						
	事業量2(事業に要した人数)						
年間経費([A]+[B])	2,273	2,793	1,760	2,465	1,370		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	43.7	53.7	33.8	47.4	26.3		
経費に関する 補足説明	平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
達成度	目標達成度	%	-	71.7	56.4	55.6	100.0
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 委託業務の明確な成果が得られていないと考えられる。業務委託内容や計画性を明らかにしながら発注方法の改善が必要である。						自己評価 (5点評価) 2
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 地元や住民の要望である場所については、十分な配慮が必要である。しかし、地域住民が希望していない花壇やプランターについては、廃止又は縮小を早急に検討し結論を出す必要がある。						自己評価 (5点評価) 2
	事業単価	円	43.7	53.7	33.8	47.4	26.3
効率性	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 委託契約期間が年間契約でありながら、計画性・効率性が著しく低く感じられる。そのようなことがないように、平成22年度で、委託できる花壇を3か所に限定し改善できた。						自己評価 (5点評価) 2
	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input checked="" type="checkbox"/> 低			
必要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 平成22年度当初に検討を加えた結果、管理を必要とする対象箇所は概ね6箇所となった。環境美化を目的とするが、限られた範囲に留まっているため、委託すべき業務とすれば必要性はかなり低いと考え、3か所に縮小できた。 今後とも、空き花壇やプランターの管理については、地域(地元)・オーナー制度の導入・ボランティア活動を活用し、市民や地域の環境美化意識を育みながら実施することが理想である。						自己評価 (5点評価) 2
	総合評価	自己評価をふまえた現状分析 市民に対する貢献度や満足度を想定するとかかなり低い事業と評価されます。1年間の契約期間を以って委託するのであれば、年間計画を詳細に策定し、事業内容や事業量を明確にする必要がある。 今後、シルバー人材センターに発注する際には、年間契約を前提とせず、必要に応じて委託することで改善を図る必要があると考える。					評価グラフ

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	西淡地区の業務委託において、委託する内容を精査し契約の見直しを行うとともに経費削減を行う。	同左。
(現状維持以外の改善方法)	花壇の管理業務に関して年間計画を策定し、適正に発注する。 不法投棄の処理については、別契約若しくはグリーンニューディール事業に移行する。 地元にとって必要の無いプランターについては原則撤去する。 地元や団体及び民間で管理できる花壇は、今後シルバー人材センターに業務委託しない。	同左。
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面 急激な削減や廃止は、地元や関係者の不安を招くが、地元等に引き渡す場合の条件等を一元化すれば問題を回避できると考える。	効果(アウトカム)面 花壇は地域で管理できるように推進する。
	コスト面 管理業務日数を精査し、目標を180日から100日とする。	コスト面 地元やボランティアで管理すること推進することで、地域の美化意識の向上が図れるとともに、経費の削減が見込まれる。
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 現在、中止して影響のある場所を精査している。業務委託する場合、シルバー人材センターだけに拘らず、自治会・老人会・婦人会・ボランティアグループ・民間等も含めて効率的に行う必要がある。	